

地域活動 レポート

令和8年9月

No.66

東淀川区役所
地域課（地域）

06-4809-9509

tm0011@city.osaka.lg.jp



■盆踊りがつなぐ地域の輪へ参加・支え合い・
交流から生まれる地域力へ

東淀川区内では、各地域で盆踊り大会が開催されています。盆踊りは、人と人をつなぐ夏の風物詩です。

7月30日には、豊新小学校講堂で「豊新盆踊大会（8月1日・2日開催）」に向けた練習会が開催されました。毎年参加される地域の皆さんに加え、盆踊りを習う若い世代や、赤ちゃん・幼児連れの保護者も参加し、世代を超えて交流しました。また、地域内にある日本語学校から、バンングラデシュ、ネパール、パキスタン出身の留学生と引率の先生も参加。留学生の皆さんは地域の輪に加わり、



盆踊り練習会の様子（写真提供：蒼国際学院／蒼国際学院公式Facebook（7月31日投稿）掲載写真を、許諾のうえ転載）

炭坑節や河内音頭、東淀川区民音頭、ダンス・ヒーローなどを地域の皆さんと一緒に踊りました。終了後は椅子の片付けやうちわの回収にも協力しました。練習会で踊りを覚えた留学生は1日の本番にも参加し、「暑い夏にも楽しい思い出ができた」（蒼国際学院公式Facebook（8月4日投稿）より。許諾のうえ転載）と、笑顔で輪に加わりました。地域と日本語学校のつながりが生まれた貴重な機会となりました。

一方、「下新庄公園盆踊り大会（8月1日・2日開催）」で印象的だったのが、熊本地震への義援金活動です。義援金は募金箱を置くだけでなく、専用テントを設けたブースで受け付けられていました。ブースでは、義援金を受け付ける担当者、寄付者名をパソコンに入力する担当者が役割を分担し、一人ひとりの善意を受け止めていました。

また、会場設営や模擬店、会場見守り、後片付けなどのボランティアを「都合の良い時間だけでもOK」と募集し、LINEで気軽に申し込める仕組みも取り入れられていました。参加しやすい工夫がされており、多くの人が少しずつ地域を支える仕組みづくりが進められているのを感じました。

盆踊り大会は、地域の伝統を受け継ぐだけでなく、人と人をつなぎ、新たな担い手を育てる場でもあります。地域のつながりや支え合いを実感しました。

◆地域課からのお知らせ

■運営の手引き第2版を発行！ 地域活動協議会連絡会議で活用方法を共有しました

東淀川区役所では、地活協の皆様が、日ごろの会議や事業をより円滑に進められるよう作成した『東淀川区 地域活動協議会 運営の手引き』を、このたび第2版に改訂しました。

第2版では、地域からのご意見を踏まえ、新たに「ボランティア証明書」を付録として追加しました。地域活動への参加促進や、ボランティア活動に取り組む方々への支援など、さまざまな場面でご利用いただけます。

また、地活協の会長や事務局長、会計などの中心メンバーを対象に地域活動協議会連絡会議の中で、手引きの各章や付録の活用方法をご紹介しました。開催後のアンケートでは、「運営のポイントを改めて確認できた」「チェックリストを活用したい」「ボランティア証明書を活用してみたい」などの感想が寄せられ、手引きを地域運営に役立てたいという声が多く聞かれました。

東淀川区役所では、今後も各地域へのヒアリングや連絡会議などを通じて、手引きの活用を進めるとともに、地域の皆様からいただいたご意見を今後の改訂にも生かしていきます。ぜひ、「東淀川区 地域活動協議会 運営の手引き（第2版）」をご活用ください。